

真備部会の報告

■減災対策協議会 真備部会[中国地整・県・倉敷市]

・減災対策協議会 真備部会は、「国土交通省 高梁川・小田川緊急治水対策河川事務所」・「岡山県 備中県民局」・「倉敷市」の三者で隔月で集まり会議を開催しています。主な議題は「真備緊急治水対策プロジェクト」について各機関のハード対策の進捗状況について情報共有を行っています。またその他情報提供するトピックがあれば会議内で共有します。会議の結果については、『真備緊急治水対策プロジェクトだより』という形でとりまとめ、倉敷市報と共に地元住民へ配布を行っています。

会議風景 (R3.4撮影)



『真備緊急治水対策プロジェクトだより 第12号』(R4.2発行)の例



堤防強化工事 (国・県・市)

未次川では、有井橋、岡橋の橋梁工事を施工中です。写真は、完成した大日橋の橋梁の状況です。



小田川合流点付替工事 (国)



お知らせについて

二万小学校4年生が現場見学を行いました ～進捗する土木技術を体験～

倉敷市立二万小学校4年生(17名)を対象に、小田川堤防強化工事の現場見学会を実施しました。見学会では堤防強化工事の概要説明や建設機械の乗車体験などを行いました。この見学会を通じて、将来を担う子供達に土木工事の魅力を感じてもらいたいことを期待しています。

日 時：令和4年1月20日(木) 9:30～11:00
場 所：小田川富田橋下流付近

堤防強化工事の概要説明の後、現場体験として、①VR体験：工事現場でのVR空間を体験、②ドローン飛行：ドローン操作状況を見たり、工事現場での役割を学ぶ、③建設機械の乗車体験：掘削機械の操縦室に登ったり、掘削している状況を見学、④高所作業車の乗車体験：高所作業車に乗り、高所作業を体験してもらいました。



『平成30年7月豪雨 被災体験から学ぶ～後世へのメッセージ』 ～インタビュー動画第2弾が完成しました～

平成30年7月西日本豪雨により倉敷市真備町で被災した方々に、被災当時のこと、現在に至るまでの活動についてお聞きしたインタビュー動画『平成30年7月豪雨 被災体験から学ぶ～後世へのメッセージ』の第2弾が完成しました。

出演者：片岡 宗津子さん (特定非営利活動法人そーる理事長)
深澤 麗子さん (真備町箭野地区)
中尾 研一さん (箭野地区まちづくり推進協議会会長)
中山 正明さん (株式会社オオリ取締役会長)
平井 智之さん (株式会社日之九タクサー代表取締役社長) (五十音順)



皆さんには被災当時の状況を振り返っていただき、まさにまちが浸水していくなかで自分達が行った行動、そして泥だらけになってしまった真備町で、夜眠れなくなって歩み出そうと決意させたものは何だったのかについて、提供いただいた貴重な映像とともに語っていただいています。

皆さんのお話に共通するのは「繋(つな)がり」です。地域の繋がりが、支援者との繋がりが、訪問者種別利用者との繋がりがあり、また今回は企業経営者からの提供も加わって、社員や取引先との繋がりにも話が及びます。安心して暮らせるまちとして再建するために届けられている現在の活動や、今後目指していく「地域防災」のあり方、被災体験から得られた教訓を次の世代へ「繋いで」いこうとする人々の努力を、動画を通じて皆さんの方々に知っていただきたいと思えます。

動画は12月23日より事務所WEBサイトで公開中です。またDVDをご希望の方に無料配送しています。(https://www.cgr.mit.go.jp/takada/09sho/cgr09sho.html)

国土交通省高梁川・小田川緊急治水対策河川事務所
電話 086-697-1020

岡山県備中県民局建設部河川激甚災害対策班
電話 086-434-7157

倉敷市土木部土木課
電話 086-426-3521

岡山県・岡山県・倉敷市からの発信

LINE 公式アカウント
@mabinfo-syousei

逃げ遅れゼロに向けた取組

■要配慮者マイ・タイムライン[作成ヒント集：中国地整(作成)・倉敷市]

みんなで避難を考える

地域連携型
要配慮者マイ・タイムライン
(個別避難計画)

～作成ヒント集～



マイ・タイムラインとは：
災害が起こりそうなとき、自分がいつ、なにをするの整理した行動計画

- ・洪水からの「逃げ遅れゼロ」を実現するためには、避難に支援が必要な方をいかに安全な場所へ避難させるかが重要
- ・被災後、倉敷市真備町地区では要配慮者を中心に、隣近所をはじめとした地域の方々や、福祉事業所職員等が集まり、みんなで避難について考えるため地域連携型のマイ・タイムラインの作成を進め、取り組みを加速化するため、R2年10月8日に作成ヒント集を公開
- ・「要配慮者マイ・タイムライン」の作成過程を題材としたミニドラマを作成。作成ヒント集の作成イメージを伝えるもので、これをきっかけに要配慮者マイ・タイムラインの作成を推進

【ヒント集のポイント】

- どうやって声をかけてあつまったのか事例を紹介
- 要配慮者マイ・タイムライン作成にあたって、話し合う内容のポイントを解説
- 実際にマイ・タイムラインを作成された方の声を掲載



- ・平成30年7月西日本豪雨により真備町で被災した方々に被災当時のこと、現在に至るまでの活動についてお聞きしたインタビュー動画「平成30年7月豪雨 被災体験に学ぶ～後世へのメッセージ」を作成しました（令和3年6月）。また第2弾のインタビュー動画も令和3年12月に公開されました。
- ・動画では、「まさか」が「現実」となった当時の状況を振り返っていただいておりますが、そこには皆さんの後悔や反省の言葉があります。その言葉には、自分たちのような失敗を繰り返してほしくない、全国で頻発する自然災害への教訓にしてほしいという願いが込められています。また、それぞれがどのような思いで支援活動や防災活動するに至ったのかという経緯が語られています。
- ・これらの動画は事務所YouTubeに公開し、希望者にはDVDを配布しています

第1弾 出演者

- 多田伸志さん（岡山マインド「こころ」代表）
- 津田由起子さん（小規模多機能ホーム「ぶどうの家」代表）
- 徳田典子さん（ボランティアグループ「スマイリング」代表）
- 楨原聡美さん（川辺復興プロジェクト「あるく」代表）
- 守屋美雪さん（箭田地区まちづくり推進協議会 事務局長）
- 上田啓二郎さん（箭田地区まちづくり推進協議会 すくらも班班長）

第2弾 出演者

- 片岡 奈津子さん（特定非営利活動法人そーる理事長）
- 須増 国生さん（真備町箭田地区）
- 中尾 研一さん（服部地区まちづくり推進協議会会長）
- 中山 正明さん（株式会社テオリ取締役会長）
- 平井 啓之さん（株式会社日の丸タクシー代表取締役社長）



DVDパッケージのデザインイメージ 左：第1弾 右：第2弾

■ 地域連携の河川管理 [中国地整]



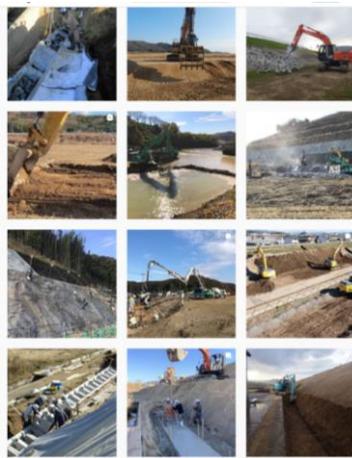
- ・河道の樹林化抑制に向け、小田川河川敷の一部区間において、箭田地区まちづくり推進協議会と国土交通省が連携しマレットゴルフ場を整備し、週末を中心にマレットゴルフを楽しみながら河川管理を実施
- ・令和2年度から、地域参加型の持続可能な河川敷の活用・管理方法を連携して検討（草刈りの回数や草踏み（重機や人）の回数等の違いによる植生の違いを実験）



小田川河川敷での繁茂抑制の実験

小田川河川敷でのマレットゴルフ

■ 真備緊急治水対策プロジェクトの記録 [中国地整]



- ・「真備緊急治水対策プロジェクト」について、動画、写真などの記録を整理し、事業の紹介・工事の状況などをYouTubeやInstagramなどを通じて外部へ積極的に発信しています

堤防強化と合流点付替え事業の工事状況等を説明する動画『真備緊急治水対策 復興への道』をYouTubeで配信

工事の進捗状況をインスタグラムで紹介

合流点付替え事業の工事状況等を説明する動画『オンライン現場見学会』をYouTubeで配信